

バス運転手確保対策強化事業(女性運転士キャリアナビゲート)【富山県】

地域の実情と課題

- ①本県においては、二種免許取得者の減少や高齢化、いわゆる「2024年問題」による運転手の労働時間に関する規制強化により、人手不足状態が続いている。
- ②バス運転手の女性比率(全国)は2.2%(2020年度)と、他産業に比べて極端に低く、担い手確保対策として、女性の入職・定着の促進を図ることが必要。

目的・目標

項目	現状	目標
富山県における運輸業、郵便業の女性従事者の割合	18.6%(R3)	20.3%

事業の特徴

- バス運転手の仕事の魅力をより多くの女性に知っていただくための交流イベント「Bus life meet-up!〜『バス』でつながる交流イベント〜」を開催
- ①現役女性バス運転手等のステージトークの実施
 - ②現役女性バス運転手等との座談会の実施
- ※交流イベントへの話題提供として、同日イベント前に新人のバス運転手が成長していく姿を描いた映画「つぎとまります」の上映会を実施(交付対象外経費)

連携団体

- 一般社団法人女性バス運転手協会
- 県内交通事業者 等

事業の効果

- ①交流イベントの参加者
一般参加者25名、交通事業者(バス運転手等)9名
- ②当日のアンケート結果(回答者23名)
 - ・回答者の全員が公共交通や担い手の確保について関心が高まった、と回答
 - ・回答者の半数以上が、今後、公共交通に従事してみたい・勧めたい、と回答

今後の課題

- ・公共交通の担い手の確保は、中長期に取り組むべき課題であり、女性活躍推進に向け、業界のイメージアップ、業界への入職・定着に継続して取り組んでいく必要がある。
- ・現役女性バス運転手のステージトークや座談会は、交通事業者との連携が不可欠であり、引き続き連携して取り組んでいく必要がある。

事業の概要

バス運転手を含む交通事業者の担い手確保対策として、女性の入職・定着の促進を図るため、意識改革や環境改善の取組みが促進されるよう交流イベントを開催し、現役女性バス運転手のステージトークや座談会を実施

①現役女性バス運転手等のステージトーク

県内路線バス事業者等に勤務する現役バス運転手や人事担当者4名によるステージトークを実施。女性バス運転手協会の代表理事が進行を務め、バス業界に女性が少ない課題に関し、「時間の融通が利きにくい」、「休暇が取りにくい」等の現状や、それに対するバス業界の改善策等について実体験をもとに会場の参加者と共有

女性運転手が依然として少ない現状や、子育てと仕事を両立させる難しさについても活発に意見交換を行い、女性が働く環境のさらなる整備が必要であることについて認識が共有できた。

②現役女性バス運転手等との座談会

運転手を含む公共交通の担い手として働くイメージや、職場の環境・雰囲気、仕事とプライベートの両立など、普段は聞くことのできない疑問や不安について、現役女性運転手やこれから就職を控える世代の女性による意見交換・情報発信の場を設け、不安を払拭するとともに参加者同士の交流を深めることで、業界への入職・定着につなげるとともに、業界のイメージの改善・女性活躍推進に向けた座談会を実施

参加者は現役バス運転手に「運転中トイレに行きたくなったらどうするの?」「お酒は飲まないの?」「新しい女性運転手は入ってきますか?」等、積極的に質問し、驚きとともに初めて得られる情報も多く、大変有意義な時間となった。

イベント終了後のアンケートでは、「バス運転手という仕事をより身近に感じた」「一度会社の説明会に行ってみた」など、前向きな意見が多く寄せられた。

